

第 16 回日本デフ水泳選手権大会 二次要項

1 競技規則と競技方法

- (1) 本大会は、公益財団法人日本水泳連盟（以下「日水連」という。）「競泳競技規則」と本大会要項により実施する。
- (2) 競技方法は、個人種目、リレーともタイムレース決勝とし、少年・少女の部（中学生以下）、一般の部（高校生～39 歳）、シニアの部（40 歳以上）ごとに表彰を行う。なお、混合リレーは、性別、年齢、所属、障がいの有無の区別なく行う。
- (3) 本大会では、日水連の「競技者資格規則」が適用されるので、スポーツマンシップに留意すること。
 - * 水着、広告規制、装飾品など招集所でチェックするので、その旨心得ること。
 - * テーピングやサポーターも禁止されている。絆創膏などもテーピングとみなされる。ただし傷を保護するために行う場合は、審判長の指定した役員の許可が必要で、「テーピング等申請用紙」を提出すること。
 - * 「テーピング等申請用紙」は選手受付に備えている。該当レースの 1 時間前までに「テーピング等申請用紙」を選手受付に提出し、許可を得ること。
- (4) 計時のバックアップは、手動計時（ストップウォッチ）を使用する。
- (5) 本大会では、上訴審判団は設置しない。

2 スタートについて

スタートは 1 回のみとし、やり直しは行わない。他の選手がフォルススタートをした場合も出発合図員の号砲によってスタートすること。スタート合図は、英語（「Take your marks」）で行う。※本大会では、バックプレート付きのスタート台およびバックストロークレッジは使用しない。

3 競技順

競技は、女子・男子の順に大会プログラムの順序で行う。

4 招集

- (1) 招集は、プールサイドで行う。あらかじめ記載された競技開始時刻の 5 分前までに集まること。招集時間に遅れた者は棄権とみなすので、各自スタートリスト等で自分の招集時間を確認すること。また、競技の進行に注意すること。
- (2) 当日競技を棄権することになった場合は、競技開始 1 時間前までに「棄権届け出用紙」を選手受付に提出すること。
- (3) 招集場所が密にならないように、他者との距離の確保をとり、会話は控えること。

5 競技時間

競技時間は、あらかじめスタートリストに記載された時刻で行う。ただし、トラブルなどにより記載された時刻から遅れることがあるので、進行状況に注意すること。

6 棄権・訂正について

氏名、所属の訂正や棄権の場合はそれぞれ「プログラム訂正用紙」、「棄権届け出用紙」に記入し、競技開始 1 時間前までに選手受付へ提出すること。エントリーと異なる参加種目の変更や追加は原則認めない。「プログラム訂正用紙」、「棄権届け出用紙」は選手受付に備え付けている。

7 抗議について

- (1) 競技開始前に判明した事項は、出発合図の前に文書で審判長に提出しなければならない。
- (2) 競技終了後の抗議は、公式掲示の時刻から 30 分以内に、文書及び抗議料 10,000 円を添えて大会本部に提出しなければならない。
- (3) 抗議が認められれば抗議料は返金される。抗議が却下された場合は、抗議料は主催者の所有となる。
- (4) 抗議用紙は、選手受付に備え付けている。
- (5) 抗議の裁定に対する上訴が可能であり、かかる上訴は次の時点から 30 分以内に上訴料 15,000 円を添えて大会本部に対して行わなければならない。 * 審判長の決定により修正された種目結果の正式発表があった時から 30 分以内。
 - * 行われた抗議に対して、審判長もしくは審判長の代理者から結果の修正は行われたい旨の通知があった時から 30 分以内。

- (6) 上訴が認められれば上訴料は返金される。上訴が却下された場合は、上訴料は主催者の所有となる。
- (7) 上訴用紙は選手受付に備え付けている。
- (8) 審判長に失格理由などを問い合わせることは抗議ではない。
- (9) 公式掲示時刻は、速報板に掲出された時刻とする。

8 表彰について

- (1) 各種目（リレーの場合はチーム）の優勝者に金メダルが授与される。
- (2) 表彰状は授与せず、完泳者には記録証を授与する。
- (3) オープン参加の選手（選手の家族や聴覚以外の障がい）は、表彰の対象としない。
- (4) 表彰式は行わないので、優勝者は競技終了後に「金メダル引換証」を受け取り、選手受付にメダルを取りに行くこと。

9 速報の掲示及び記録証の配布

- (1) 速報は、体育室に掲示する。
- (2) 記録証は選手受付で配布する。全競技終了 30 分以内に各自、取りに行くこと（記録証の郵送は行わない）。

10 リレーオーダー等について

- (1) リレーは、選手受付で当日エントリーを受け付ける。リレーチームの責任者は、リレーオーダー用紙をその種目の開始 1 時間前までに選手受付に提出すること。
- (2) リレーにおける第一泳者の記録は計測しない。

11 前日練習及び大会当日のウォーミングアップについて

- (1) プール環境：25m×6 レーン、水深 1.2m、水温 30 度、室温 30 度
- (2) 練習に使用できる用具は、ビート板・ブルブイのみとする（パドル、フィン、シュノーケル、コード類は使用できない）
- (3) 練習時間は次のとおりとする。

前日練習

- ①12 月 24 日（金） 15:30～17:30
- ②16:30 までは、一般利用者がいるので、その旨留意すること。16:30 以降は選手のみが利用できる。
- ③公式スタート練習は行わない。16:30 以降は、ダッシュレーンを設置する。

大会当日のウォーミングアップ

- ①12 月 25 日（日） 9:00～10:00 および午前の競技終了後から 13:00 まで。 ※9:45 から公式スタート練習を行う。
- ②競技会開催中は、5 レーン、6 レーンが使用できる。
- ③競技会終了後 20 分間プールが使用できる。

12 監督者会議について

- (1) 監督者会議は行わないので、この二次要項をよく読んでおくこと。
- (2) 競技についての質疑がある場合は、選手受付へ問い合わせること。

13 水着・所属表示等について

- (1) 本大会では、FINA 公認の水着を着用すること。
- (2) 水着のチェックは招集所で行う。
- (3) 規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、すべて参考記録扱いとする。
- (4) 着用できる水着は 1 枚のみとし、水着の重ね着は禁止する。
- (5) 水着へのテーピングおよび 2 次加工は禁止する。
- (6) 競技エリアで着用するユニホーム等の表示は、介助者、スタッフを含め、次のもの以外は認められない。
 - ①自分の氏名、所属の名称やマーク
 - ②国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称やマーク
 - ③公式競技会および公認競技会のシンボルマークや主催者が認めたもの

④水着、ウエア等のメーカーロゴ・マーク

⑤事前に届出承認がされている、スポンサーロゴ

※それぞれの大きさと数については、【表】のとおりとする。

【表】

マークの種類/用途	水着についてよい大きさと数	ウエアについてよい大きさと数	その他のものについてよい大きさと数
自分の氏名、エントリーした所属の名称、マーク、国旗・国または地域等の名称やマーク、公式・公認競技会のマークや主催者が認めたもの	50 cm以内で1か所	大きさ、数に制限なし	大きさ、数に制限なし
メーカーのロゴ・マーク	メーカーロゴまたはマークは30 cm以内で1か所	メーカーロゴは40 cm以内で1か所。マークは20 cm以内であれば数に制限なし	メーカーロゴは20 cm以内で1か所。マークは20 cm以内であれば数に制限なし
事前承認されたスポンサーロゴ	30 cm以内で1か所	40 cm以内で1か所	20 cm以内で1か所

※1 それぞれの大きさ（サイズ）は着用前の面積とする。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で面積を求める。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はない。

※2 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に1つ、ウエストより下に1つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に1つ、下部に1つが許される。ただし、これらの商標名は相互に隣接しておくことはできない。

14 アンチ・ドーピングについて（以下、JADAからの注意喚起文による）

（1）ドーピング検査の実施については、本大会実施要項の記載による。

（2）ドーピング検査の結果、陽性反応となり、違反が認められた場合は、記録は認められず、メダルは返却しなければならない。

15 開会式、閉会式

開会式は、閉会式は、実施しない。（開式、閉式は通告により行う。）

16 その他

（1）選手ならびに同行者は1階入口で検温、手指消毒を行った後、体育室で選手受付を行うこと。

（2）選手の待機場所は、プールサイドおよび体育室とする。

（3）選手の家族、同伴者は体育室のほか、2階プール観覧席が利用できる。

（4）主催者より許可を受けた者以外の競技エリア内への入場はできない。

（5）選手にはアクレディテーションカード（以下「ADカード」という。）を発行する。

（6）ADカードがない場合は入場できない。会場内では常に携帯しておくこと（練習中、レース中を除く）。

（7）選手は、原則として、レース前までマスクを着用すること。衣類やマスクが直接脱衣かごに触れないよう、ビニール袋などを各自で準備すること。

（8）大会期間中における事故または傷病については、応急処置のみとする。その他の責任は負わない。

（9）会場において発熱等の症状があった場合は、医務担当者まで連絡の上、すみやかに退館すること。

（10）競技の撮影について

①本大会に関する知的財産権（大会写真、動画等）は主催者に帰属する。主催者の許可なく個人的な利用以外での使用は認められない。

②介助者や選手等による撮影場所は、2階観覧席からとする。撮影機器は携帯用カメラレベル（携帯電話・スマートフォン・レンズ一体型コンパクトデジタルカメラ）とし、フラッシュを利用したの撮影等、競技の妨げになるような撮影はしないこと。また、1眼レフやレンズ交換ができるタイプのカメラ及びビデオカメラ、赤外線フィルター、赤外線装置を使つての撮影は禁止する。

③不審な撮影行為は、係員が事情聴取をする場合がある。内容によっては、所轄警察署に通報する。不審な撮影行為を見かけたら、係員に連絡すること。

④個人情報保護・迷惑防止条例等に抵触しないように十分注意すること。

⑤撮影した写真・動画については、私的に鑑賞することとどめ、許可を得ていない自分以外の人が写りこむ写真のインターネット（SNS等）へのアップロードは禁止する。また、動画のアップロードは禁止する。

⑥メディアの撮影は申請し、許可を得た場合のみとし、許可された場所以外での取材・撮影は禁止する。

(11) 食事は定められた場所（会議室 1,2、休憩コーナー）でとること。

(12) ゴミはすべて持ち帰ること。

(13) 駐車場スペースが少ないため、参加者は公共交通機関を利用すること。

(14) 忘れ物は、選手受付に一時保管する。大会終了後は、ただちに処分する。忘れ物等の問合せは直接、選手受付へ申し出ること。

◎大会前日（12月24日）の時程

10:00 JDSA 理事会（会議室 1,2）～正午

13:00 JDSA スタッフ集合（会議室 1,2）

前日練習受け入れ準備（～15:00）※1階ホールに受付設置、利用は団体利用扱いとする。

15:30 前日練習開始（～17:30）

17:30 ・選手退館

・会場設営

体育室（選手受付、待機スペース、強化ブースなど）、会議室（選手・家族控室）、和室（水連控室）、研修室（JDSA）

プール（スタート台、いす、カゴ、スポーツタイマー、招集所）

21:00 退館

◎大会当日（12月25日）の時程

8:30 JDSA 役員、大会関係者入場開始

9:00 京都水泳協会競技役員集合、選手、家族入場開始、受付、アップ開始（センター開門は8:30）

9:45 公式スタート練習

10:00 アップ終了

10:20 午前の部 競技開始

12:10 午前の部 競技終了

13:10 午後の部 競技開始

14:40 午後の部 競技終了

15:00 プールでのダウン終了、オフティング、選手退館

16:00 役員退館

◎エントリー状況

・少年、少女の部 男子 6 名、女子 7 名 計 13 名

・一般の部 男子 8 名、女子 7 名 計 15 名

・シニアの部 男子 1 名、女子 1 名 計 2 名

・オープン 男子 3 名、女子 2 名 計 5 名

男子 18 名、女子 17 名 合計 35 名